

# 個人住宅規模規格等調査（平成15年度物件）道内版

## ．調査の概要

### 1．調査の目的

公庫融資の個人住宅（建設）の実態を把握し、制度要求等の業務運営の基礎資料を得ることを目的として実施

### 2．調査の対象

平成15年度中に中間時現場審査（屋根工事完了時から外壁断熱工事完了時まで実施）に合格した個人住宅（建設）を対象（対象融資種別：マイホーム新築（一般貸付け、特別貸付け））

### 3．調査事項

- （1）住宅の規模、構造、工法及び建設費等に関する事項
- （2）住宅の着工年月日、現場審査合格年月日及び、着工から竣工までの工事期間等に関する事項
- （3）住宅の各種割増工事に関する事項

### 4．調査方法

個人住宅の審査書類から得られたデータを集計

### 5．調査件数

調査対象住宅のうち、集計可能となった27,836戸のうち、北海道1,302戸を対象

## 6. 報告書を利用する上での注意事項

- (1) 平均値は必要有効桁数の次の位の数字を四捨五入したものである。
- (2) 構成比は小数点第2位の数字を四捨五入したものであるため、構成比の合計が 100.0 にならない場合がある。
- (3) 報告書上の「構造・工法」の意味はつぎのとおりである。

構造 耐火（耐火構造の住宅）、準耐（準耐火構造の住宅）  
木造（耐火構造の住宅及び準耐火構造以外の住宅）

工法 在来工法（在来木造、在来鉄骨等、在来耐火（＝鉄筋コンクリート造））  
プレハブ工法（木質系、鉄鋼系、コンクリート系）、2×4 [枠組壁工法]、  
ログハウス [丸太組構法]

構 造	工 法
木 造	在来木造           : 在来工法（在来木造） 在来鉄骨           : 在来工法（在来鉄骨等） プレハブ（木質） : プレハブ工法（木質系） プレハブ（鉄鋼） : プレハブ工法（鉄鋼系） 2×4                 : 2×4 [枠組壁工法] ログハウス       : ログハウス [丸太組構法]
準耐火構造	在来木造           : 在来工法（在来木造） 在来鉄骨等         : 在来工法（在来鉄骨等） プレハブ（木質） : プレハブ工法（木質系） プレハブ（鉄鋼） : プレハブ工法（鉄鋼系） プレハブ（コンクリート）: プレハブ工法（コンクリート系） 2×4                 : 2×4 [枠組壁工法]
耐火構造	在来（耐火）       : 在来工法（鉄筋コンクリート造等） プレハブ（コンクリート）: プレハブ工法（コンクリート系）

## ・調査結果のポイント

### 1 住宅面積

住宅面積は全国平均（135.53㎡）を4.24㎡上回り、全道平均で139.77㎡（対前年度1.65㎡減）、道内の一人当たりの床面積平均は43.07㎡と全国平均（41.45㎡）より1.62㎡上回っている。最大は留萌地方（166.98㎡）、最小は上川地方（129.81㎡）。

### 2 敷地面積

敷地面積は全国平均（272.06㎡）を113.70㎡上回り、全道平均で385.76㎡（対前年度7.79㎡減）、道内においては地域格差が大きく、最大の留萌地方（612.67㎡）と最小の石狩地方（240.77㎡）との差は371.90㎡。

### 3 建築工事費単価・建築総工事費

**建築工事費単価、建築総工事費は全道平均、全国平均とも前年度より増加。**

建築工事費単価は全道平均で158,943円/㎡（対前年度2.65%増）で、全国平均（176,554円/㎡）の90.0%

建築総工事費は全道平均で2213.89万円/戸（対前年度2.11%増）で、全国平均（2389.97万円/戸）の92.6%

札幌市の工事費単価は170,839円/㎡と、全道平均（158,943円/㎡）を11,896円/㎡（11.4%）上回っている。

支庁別格差は拡大傾向、最大の石狩地方と最小の檜山地方は坪単価で9.3万円の差。

### 4 工法別シェア

道内の2×4シェア（30.3%）は全国最高（全国平均の2×4シェア12.3%）。

工法別シェアの長期的推移は、在来木造シェアは減少傾向、2×4シェアは拡大傾向。

### 5 基準金利適用住宅

基準金利住宅の割合は全国平均（90.9%）、全道平均（85.8%）共に前年度より微増。

道内における基準金利住宅適合率は地域格差あり。最高は上川地方（95.8%）、最低は留萌地方（52.9%）。都市部を抱える地方での適合率が高い傾向あり。

### 6 省エネ断熱工事適合率（次世代型含む）

全国平均（68.6%）、全道平均（65.4%）ともにほぼ横這い。

都市部を抱える地方や道東方面で高い適合率。

### 7 省エネルギー住宅工事（次世代型）利用率

全道の省エネルギー住宅工事（次世代型）の利用率（24.3%）は全国10位、全国平均（18.1%）と比べ、6.2ポイント高い利用率。

## ・ 調査結果の概要

### 1 住宅面積

**住宅面積は全国平均（135.53㎡）を4.24㎡上回り、全道平均で139.77㎡（対前年度1.65㎡減）、道内の一人当たりの床面積平均は43.07㎡と全国平均（41.45㎡）より1.62㎡上回っている。最大は留萌地方（166.98㎡）、最小は上川地方（129.81㎡）。**

[全国との比較]

- ・ 全道平均の住宅面積は 139.77 ㎡（対前年度 1.65 ㎡減）で、全国平均（135.53 ㎡）を上回った。平成 8 年度から 140 ㎡程度を推移している。
- ・ 道内の一人当たりの床面積平均は 43.07 ㎡（対前年度 1.01 ㎡増）と全国平均（41.45 ㎡（対前年度 0.46 ㎡増））より 1.62 ㎡上回っており、全国・全道共に住宅面積平均は前年度より縮小しているが、一人当たりの床面積平均は増加している。

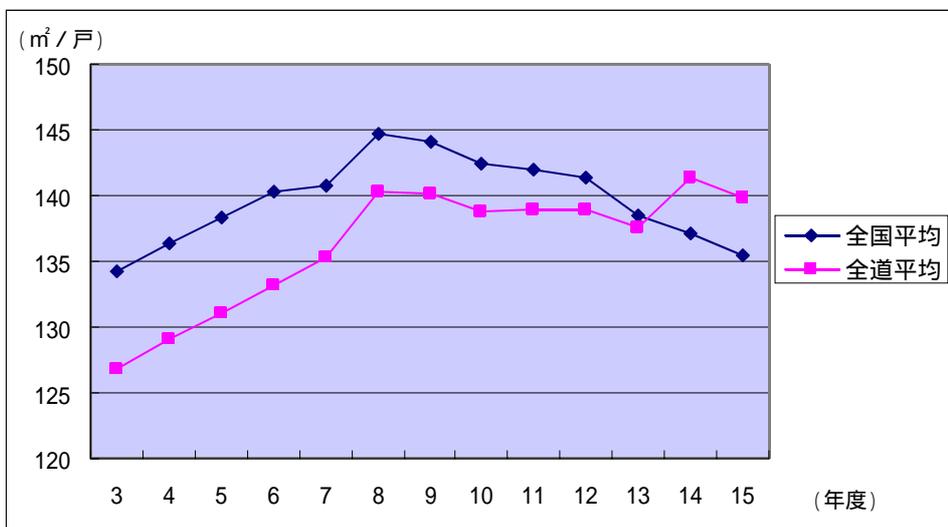


表1 住宅面積の推移 (m²/戸)

年度	全国平均	全道平均
3	134.22	126.86
4	136.31	129.11
5	138.34	131.02
6	140.24	133.14
7	140.76	135.31
8	144.73	140.28
9	144.07	140.17
10	142.36	138.72
11	141.92	138.89
12	141.33	138.91
13	138.51	137.57
14	137.15	141.42
15	135.53	139.77

図1 住宅面積の推移

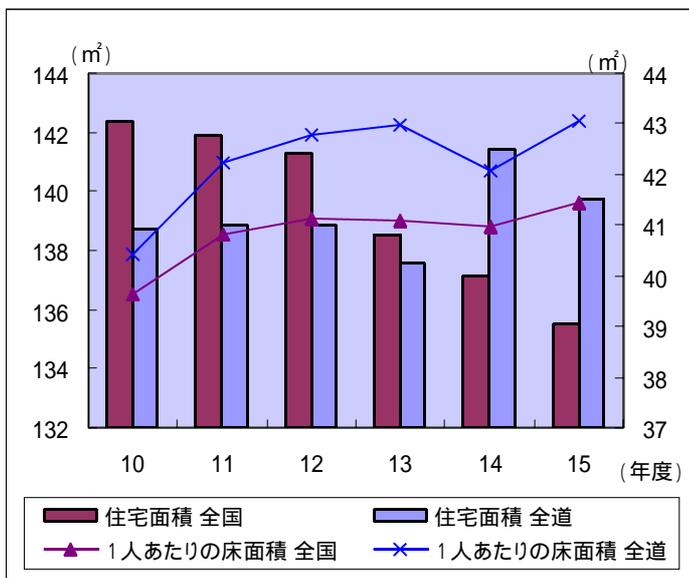


表2 住宅面積平均と一人あたりの床面積の推移

年度	住宅面積		1人あたりの床面積	
	全国	全道	全国	全道
10	142.36	138.72	39.65	40.43
11	141.92	138.89	40.80	42.25
12	141.33	138.91	41.12	42.77
13	138.51	137.57	41.09	42.97
14	137.15	141.42	40.99	42.06
15	135.53	139.77	41.45	43.07

図2 住宅面積平均と一人あたりの床面積の推移

[地域別]

- ・道内において、町村部の住宅面積平均（147.33 m<sup>2</sup>）が札幌市（134.57 m<sup>2</sup>）やその他の市（135.60 m<sup>2</sup>）に比べ、大きい傾向がある。

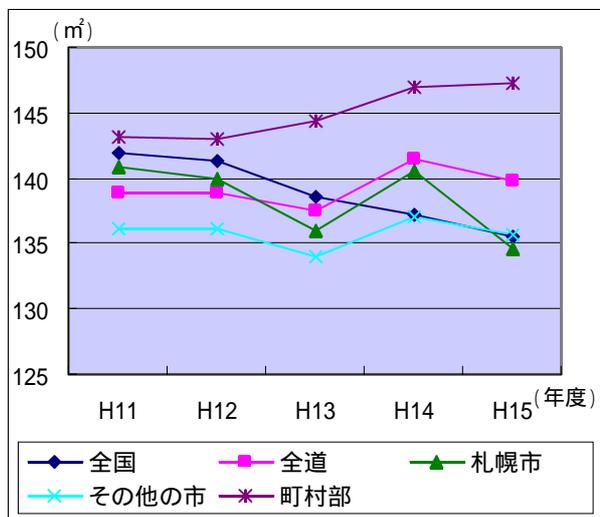


表3 地域別住宅面積の推移 (m<sup>2</sup>)

	H11	H12	H13	H14	H15
全国	141.92	141.33	138.51	137.15	135.53
全道	138.89	138.91	137.57	141.42	139.77
札幌市	140.81	139.95	135.94	140.48	134.57
その他の市	136.12	136.16	133.97	137.08	135.60
町村部	143.10	142.95	144.36	146.89	147.33

注 その他の市・・・札幌市を除く33市

町村部・・・札幌市、その他の市を除く178町村

図3 地域別住宅面積の推移

[支庁別]

- ・最大は、留萌地方の166.98m<sup>2</sup>で、檜山地方、日高地方、十勝地方、釧路地方と続いている。
- ・最小は、上川地方の129.81m<sup>2</sup>で、石狩地方、胆振地方、宗谷地方、上川地方は、全道平均を下回っている。
- ・最大の留萌地方(166.98m<sup>2</sup>)と最小の上川地方(129.81m<sup>2</sup>)の差は37.17m<sup>2</sup>と地方間で地域格差が見られる。

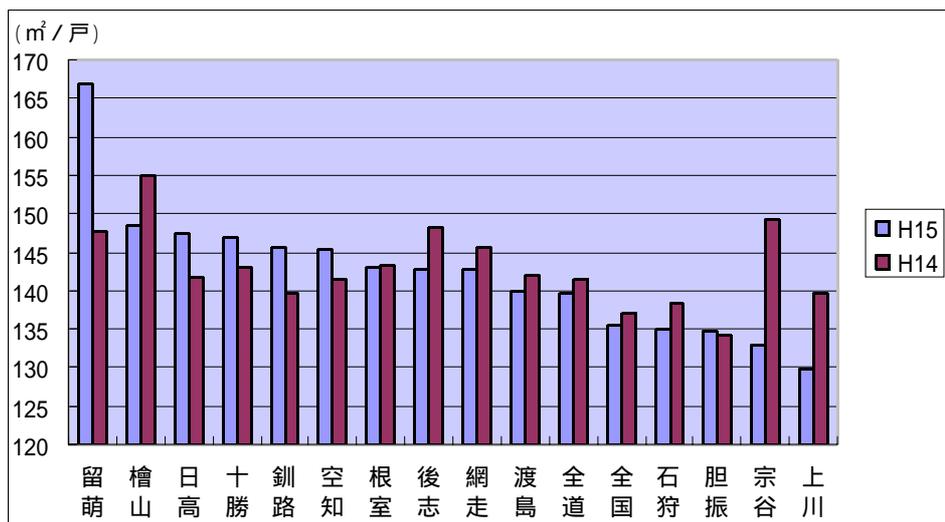


表4 支庁別住宅面積 (m<sup>2</sup>/戸)

支庁名	面積 (対前年比)
留萌	166.98 (+19.18)
檜山	148.58 (-6.38)
日高	147.38 (+5.58)
十勝	147.01 (+4.06)
釧路	145.76 (+6.03)
空知	145.37 (+3.82)
根室	142.95 (-0.48)
後志	142.81 (-5.45)
網走	142.76 (-2.87)
渡島	139.88 (-2.17)
全道	139.77 (-1.65)
全国	135.53 (-1.62)
石狩	134.91 (-3.54)
胆振	134.87 (+0.60)
宗谷	133.03 (-16.32)
上川	129.81 (-9.99)

図4 支庁別住宅面積

## 2 敷地面積

敷地面積は全国平均（272.06㎡）を113.70㎡上回り、全道平均で385.76㎡（対前年度7.79㎡減）、道内においては地域格差が大きく、最大の留萌地方（612.67㎡）と最小の石狩地方（240.77㎡）との差は371.90㎡。

### [全国との比較]

- ・全道平均の敷地面積は 385.76 ㎡（対前年度 7.79 ㎡減）で、全国平均（272.06 ㎡）を 113.70 ㎡上回っている。また、平成 10 年度より全国平均と全道平均の格差は拡大傾向にある。

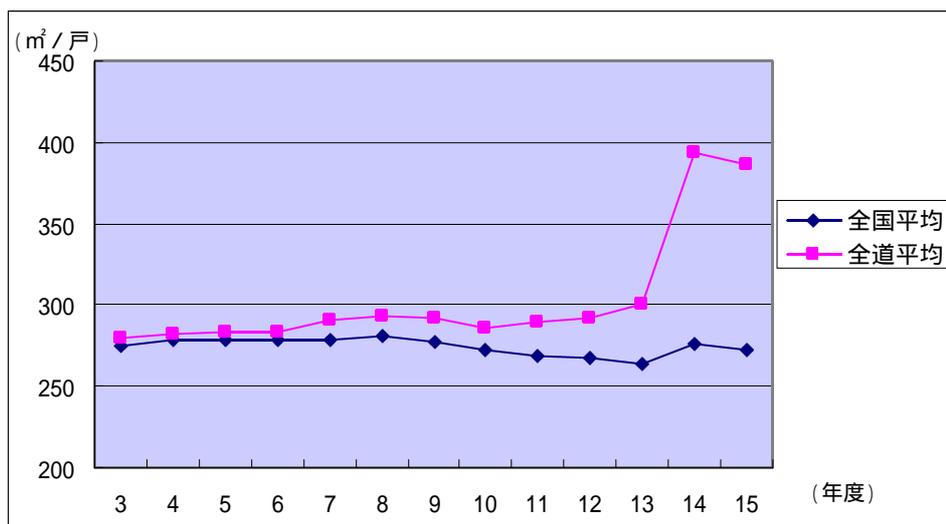


図5 敷地面積の推移

### [地域別]

- ・近年の傾向を見ると、札幌市（221.08 ㎡）の敷地面積平均はほぼ横這いとなっている。また、その他の市（306.98 ㎡）、町村部（564.87 ㎡）は前年度に大きく伸びたものの、前年度からはほぼ横這いとなっている。
- ・札幌市は敷地面積分布のピークが減少傾向にあり、町村部の敷地面積の分布は都市部やその他の市に比べ分布範囲が広がっている。

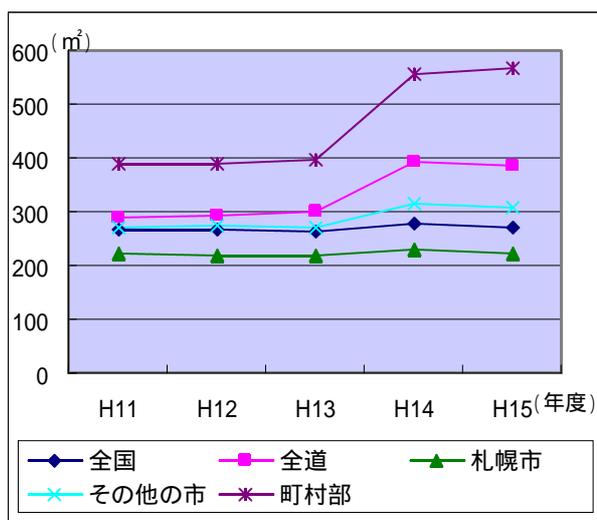


表6 地域別敷地面積の推移 (m²)

	H11	H12	H13	H14	H15
全国	268.36	267.70	264.07	276.43	272.06
全道	289.35	291.71	300.49	393.55	385.76
札幌市	221.73	220.34	217.39	228.98	221.08
その他の市	271.86	272.44	272.20	312.99	306.98
町村部	388.67	387.36	396.67	557.13	564.87

注 その他の市・・・札幌市を除く33市

町村部・・・札幌市、その他の市を除く178町村

図6 地域別敷地面積の推移

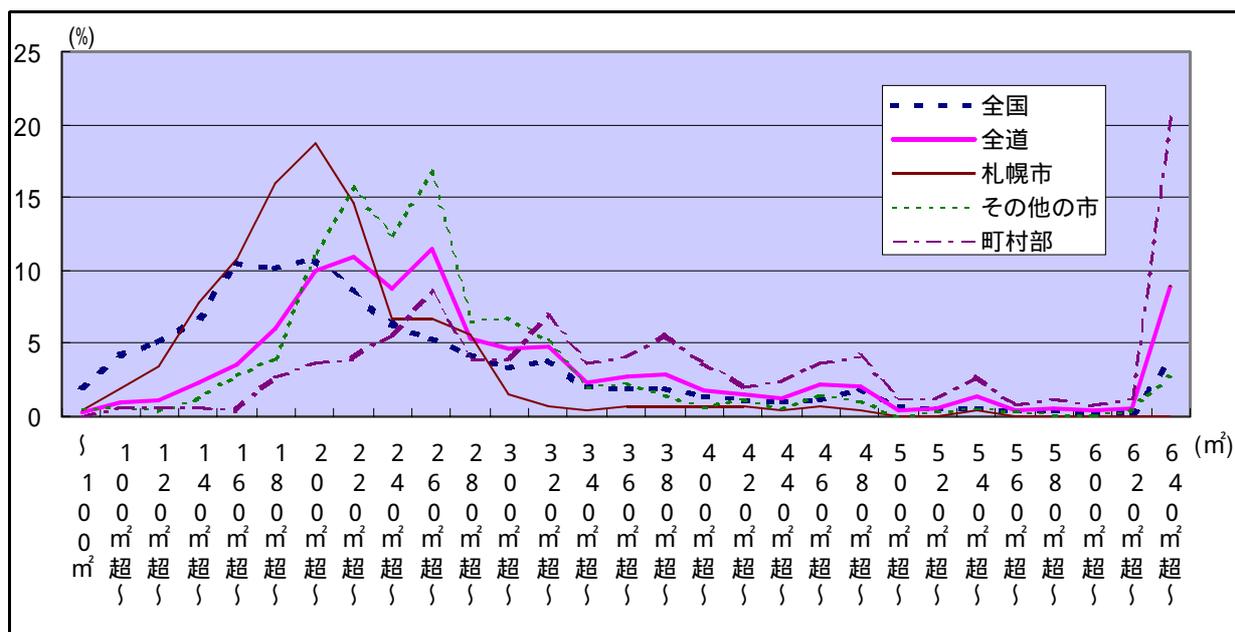


図7 地域別敷地面積の分布

[ 支庁別 ]

- ・最大は留萌地方の 621.67 m<sup>2</sup>で、根室地方、網走地方、宗谷地方、十勝地方は、500 m<sup>2</sup>を超えている。
- ・最小は、石狩地方の 240.77 m<sup>2</sup> (対前年度 2.56 m<sup>2</sup>減) で、唯一全国平均 (272.06 m<sup>2</sup>) を下回っている。
- ・各地方、敷地面積の増加傾向がみられるが、最小の石狩地方 (240.77 m<sup>2</sup>) と、最大の留萌地方 (612.67 m<sup>2</sup>) との差は、371.90 m<sup>2</sup>と前年度の最大最小格差 (307.96 m<sup>2</sup>) よりも地域間格差は拡大している。

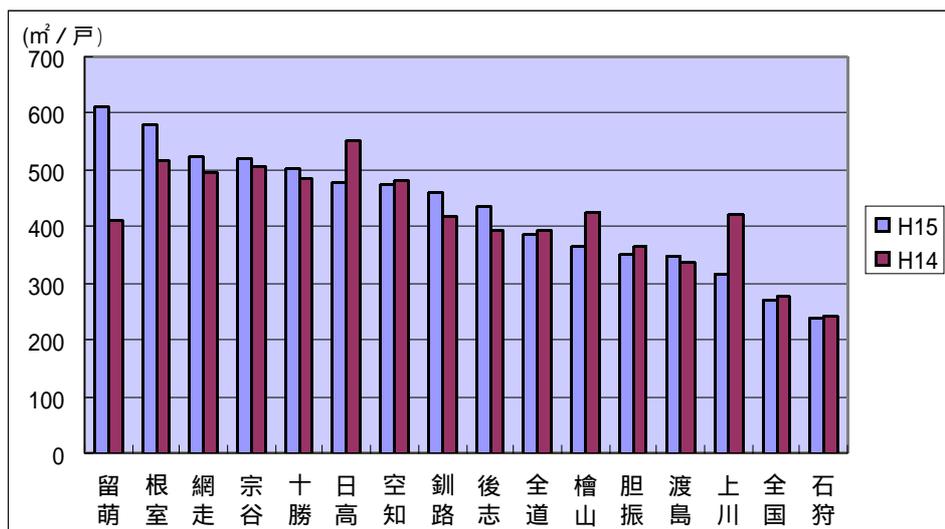


表7 支庁別敷地面積 (m<sup>2</sup>/戸)

支庁名	面積 (対前年度)
留萌	612.67 (+201.11)
根室	579.01 (+63.08)
網走	525.74 (+31.23)
宗谷	521.38 (+14.99)
十勝	501.86 (+15.08)
日高	479.09 (-72.20)
空知	473.51 (-8.95)
釧路	461.26 (+43.20)
後志	434.60 (+39.46)
全道	385.76 (-7.79)
檜山	367.38 (-57.94)
胆振	352.93 (-14.38)
渡島	349.92 (+13.90)
上川	315.08 (-105.40)
全国	272.06 (-4.37)
石狩	240.77 (-2.56)

図8 支庁別敷地面積

### 3 建築工事費単価・建築総工事費

#### 建築工事費単価、建築総工事費は全道平均、全国平均とも前年度より増加。

建築工事費単価は全道平均で158,943円/㎡(対前年度2.65%増)で、全国平均(176,554円/㎡)の90.0%

建築総工事費は全道平均で2213.89万円/戸(対前年度2.11%増)で、全国平均(2389.97万円/戸)の92.6%

**札幌市の工事費単価は170,839円/㎡と、全道平均(158,943円/㎡)を11,896円/㎡(11.4%)上回っている。**

**支庁別格差は拡大傾向、最大の石狩地方と最小の檜山地方は坪単価で9.3万円の差。**

[全国との比較]

- ・全道平均の建築工事費単価(外構工事費等を除いた建物本体の工事費単価)は、158,943円/㎡(対前年度4,109円/㎡(2.65%)増)で、全国・全道共に増加した。
- ・全道平均の建築総工事費は、2213.89万円/戸(対前年度33.01万円/戸(1.51%)増)、全国平均2389.97万円/戸(対前年度20.33万円/戸(0.86%)増)で、共に増加した。

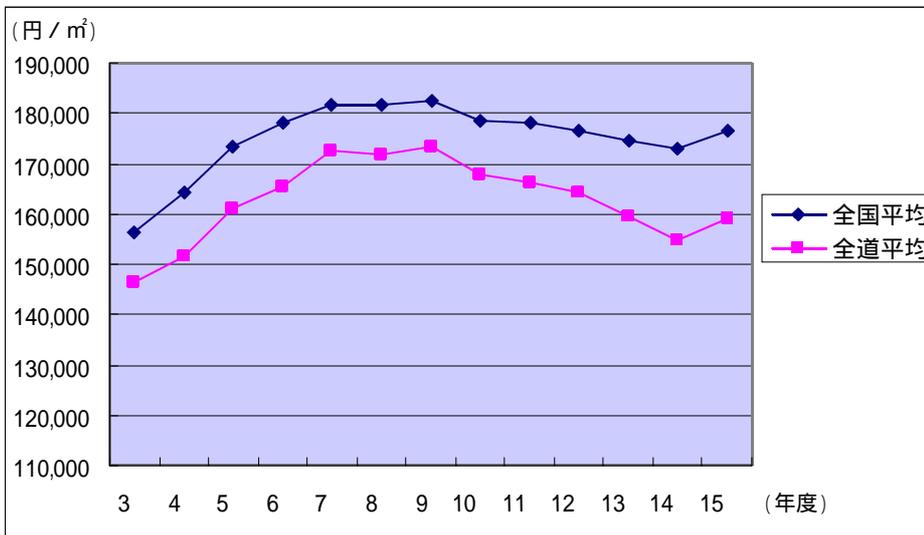


表8 建築工事費単価の推移(円/㎡)

年度	全国平均	全道平均
3	156,501	146,509
4	164,207	151,674
5	173,482	160,905
6	178,209	165,553
7	181,660	172,426
8	181,593	171,864
9	182,606	173,172
10	178,454	167,975
11	178,245	166,222
12	176,552	164,369
13	174,387	159,582
14	172,906	154,834
15	176,554	158,943

図9 建築工事費単価の推移

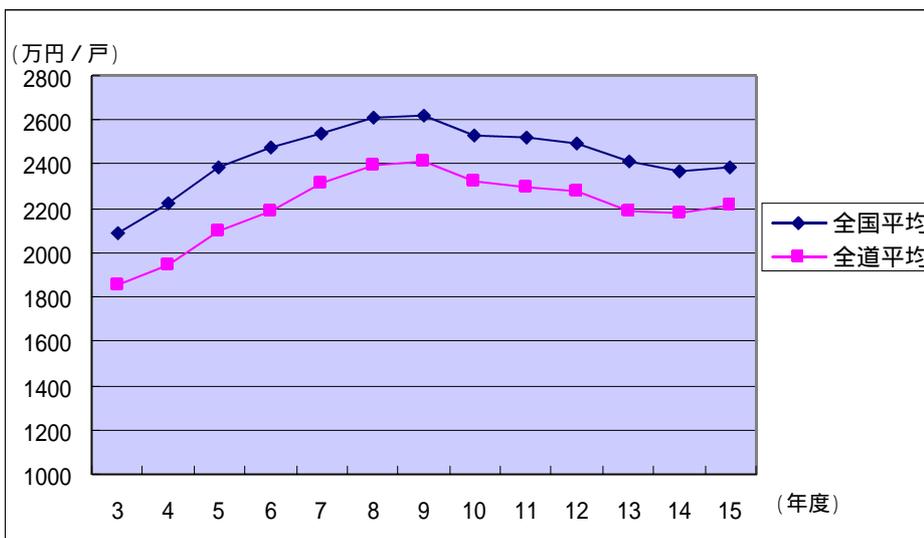


表9 建築総工事費の推移(万円/戸)

年度	全国平均	全道平均
3	2092.00	1851.00
4	2225.40	1949.50
5	2382.80	2097.00
6	2479.70	2190.10
7	2537.20	2315.20
8	2612.40	2394.40
9	2619.80	2411.70
10	2532.80	2319.20
11	2521.60	2299.30
12	2491.22	2277.12
13	2412.77	2188.00
14	2369.64	2180.88
15	2389.97	2213.89

図10 建築工事費の推移

[工法別]

在来木造:単 価 155,604 円 / m<sup>2</sup>で、全国平均 ( 165,470 円 / m<sup>2</sup> ) の 94.0 % ( 6.0 %低い。)  
 工事費 2206.25 万円 / 戸で、全国平均 ( 2237.57 万円 / 戸 ) の 98.6 % ( 1.4 %低い。)  
 プレハブ:単 価 187,755 円 / m<sup>2</sup>で、全国平均 ( 196,642 円 / m<sup>2</sup> ) の 95.4 % ( 4.6 %低い。)  
 工事費 2440.28 万円 / 戸で、全国平均 ( 2680.38 万円 / 戸 ) の 91.0 % ( 9.0 %低い。)  
 2 × 4:単 価 157,877 円 / m<sup>2</sup>で、全国平均 ( 179,261 円 / m<sup>2</sup> ) の 88.1 % ( 11.9 %低い。)  
 工事費 2146.63 万円 / 戸で、全国平均 ( 2352.68 万円 / 戸 ) の 91.2 % ( 8.8 %低い。)

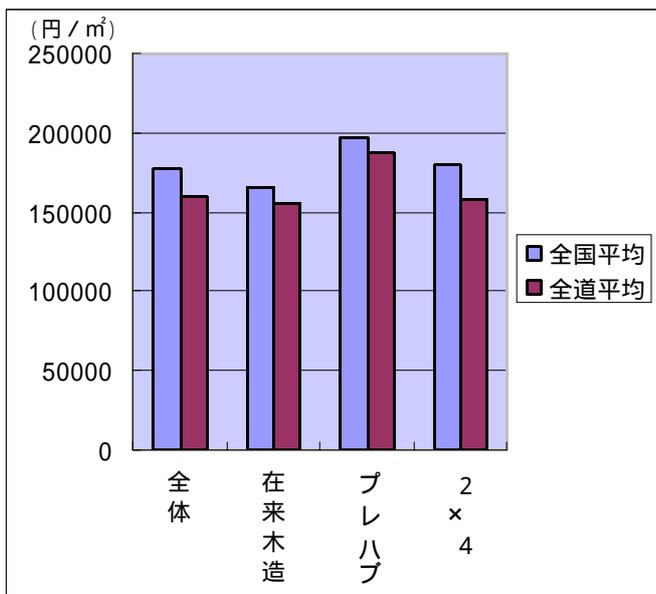


図11 工法別建築工事費単価

表10 工法別建築工事費単価(円/m<sup>2</sup>)

工法	全国平均(対前年度)	全道平均(対前年度)
全体	176,554 (+3,648)	158,943 (+4,109)
在来木造	165,470 (+2,685)	155,604 (+3,653)
プレハブ	196,642 (+6,420)	187,755 (+8,568)
2 × 4	179,261 (+3,082)	157,877 (+3,847)

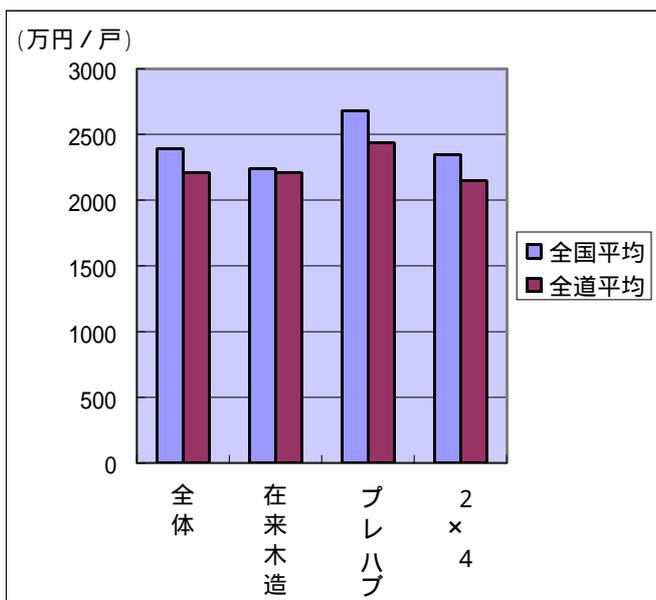


図12 工法別建築総工事費

表11 工法別建築総工事費(万円/戸)

工法	全国平均(対前年度)	全道平均(対前年度)
全体	2389.97 (+20.33)	2213.89 (+33.01)
在来木造	2237.57 (+8.54)	2206.25 (+33.15)
プレハブ	2680.38 (+41.12)	2440.28 (-10.39)
2 × 4	2352.68 (+29.56)	2146.63 (+36.49)

[地域別]

- 札幌市の工事費単価は 170,839 円 / m<sup>2</sup> (対前年度 5,951 円 / m<sup>2</sup> (3.61 %) 増) と、全道平均 (158,943 円 / m<sup>2</sup>) を 11,896 円 / m<sup>2</sup> (7.48 %) 上回っており、全道と札幌市の平均工事費単価の格差は拡大傾向にある。
- その他の市の工事費単価は 157,689 円 / m<sup>2</sup> (対前年度 2,485 円 / m<sup>2</sup> (1.60 %) 増) と全道平均 (158,943 円 / m<sup>2</sup>) とほぼ同程度である。
- 町村部の工事費単価は 153,805 円 / m<sup>2</sup> と、札幌市 (170,839 円 / m<sup>2</sup>) と 17,034 円 / m<sup>2</sup> の格差があり、前年度の格差 (14,710 円 / m<sup>2</sup>) より拡大傾向にある。

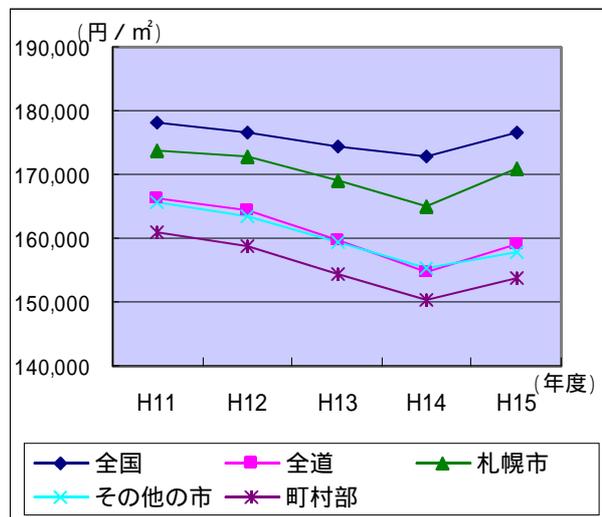


表12 地域別工事費単価の推移 (円 / m<sup>2</sup>)

	H11	H12	H13	H14	H15
全国	178,245	176,552	174,387	172,906	176,554
全道	166,222	164,369	159,582	154,834	158,943
札幌市	173,732	172,748	168,929	164,888	170,839
その他の市	165,609	163,510	159,328	155,204	157,689
町村部	160,958	158,772	154,395	150,178	153,805

注 その他の市・・・札幌市を除く 33 市

町村部・・・札幌市、その他の市を除く 178 町村

図13 地域別工事費単価の推移

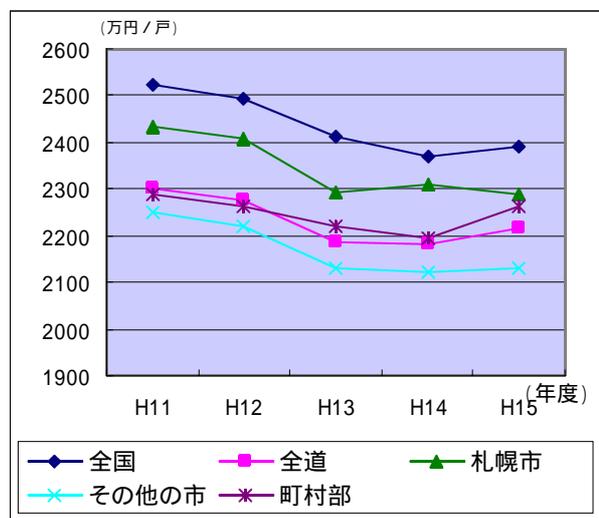


表13 地域別総工事費の推移 (万円 / 戸)

	H11	H12	H13	H14	H15
全国	2521.60	2491.22	2412.77	2369.64	2389.97
全道	2299.30	2277.12	2188.00	2180.88	2213.89
札幌市	2433.20	2409.77	2290.62	2310.95	2289.46
その他の市	2249.67	2222.20	2131.58	2121.53	2131.50
町村部	2288.50	2262.37	2219.55	2195.83	2264.84

注 その他の市・・・札幌市を除く 33 市

町村部・・・札幌市、その他の市を除く 178 町村

図14 地域別総工事費の推移

[ 支庁別 ]

- ・単価が最も高い石狩地方 ( 167,654 円 / m<sup>2</sup> ) と最も低い檜山地方 ( 139,301 円 / m<sup>2</sup> ) とは、28,353 円 / m<sup>2</sup>、坪単価に直すと 93,564 円 / 坪の差がある。前年度と比較すると、単価の道内地域格差が拡大 ( H14 の格差 20,820 円 / m<sup>2</sup> ) しており、近年拡大傾向にある。

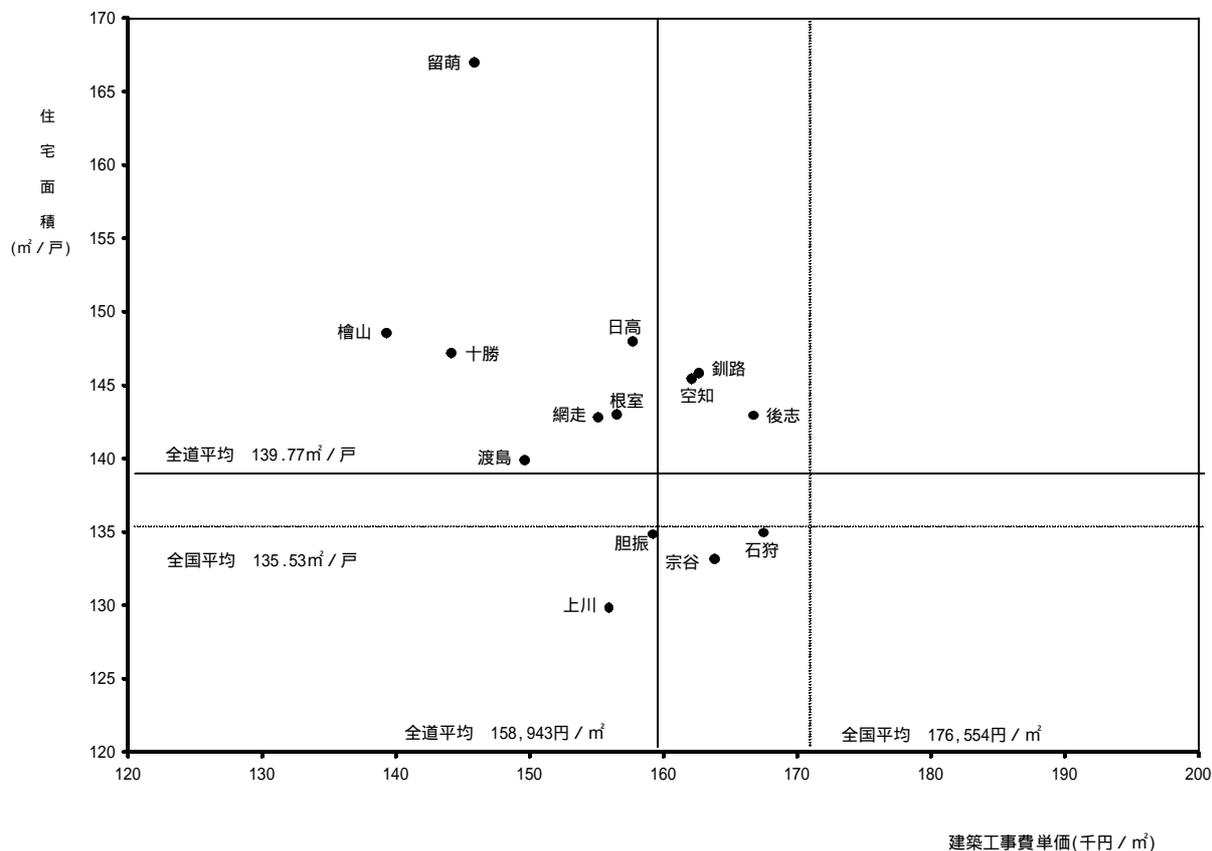


図15 支庁別建築工事費単価と住宅面積の相関図

表14 支庁別建築工事費単価・建築総工事費 (円/m<sup>2</sup>) (万円/戸)

支庁名	単価 (対前年度)	総工事費 (対前年度)	支庁名	単価 (対前年度)	総工事費 (対前年度)
全国平均	176,554 (+3,648)	2,389.97 (+20.33)	留萌支庁	145,934 (-2,407)	2,443.88 (+248.19)
全道平均	158,943 (+4,119)	2,213.89 (+33.01)	宗谷支庁	163,563 (+8,988)	2,169.41 (-120.87)
石狩支庁	167,654 (+5,946)	2,253.94 (+17.55)	網走支庁	155,193 (+5,339)	2,205.63 (+29.14)
渡島支庁	149,448 (-2,231)	2,084.66 (-53.14)	胆振支庁	159,315 (+6,317)	2,149.36 (+103.06)
檜山支庁	139,301 (-2,848)	2,030.06 (-163.58)	日高支庁	157,812 (+941)	2,349.85 (+140.56)
後志支庁	166,722 (+3,753)	2,354.63 (-35.10)	十勝支庁	144,229 (+1,527)	2,137.25 (+97.73)
空知支庁	162,162 (+8,055)	2,344.89 (+180.85)	釧路支庁	162,615 (+6,148)	2,348.36 (+171.05)
上川支庁	156,052 (-2,145)	2,031.07 (-174.94)	根室支庁	156,683 (-3,819)	2,228.45 (-57.63)

## 4 工法別シェア

**道内の2×4シェア(30.3%)は全国最高(全国平均の2×4シェア12.3%)、  
工法別シェアの長期的推移は、在来木造シェアは減少傾向、2×4シェアは拡大傾向。**

### [全国との比較]

- ・在来木造:道内における在来木造のシェアは、61.6%(対前年度3.0ポイント減)で、全国平均57.2%(対前年度0.5ポイント増)を4.4ポイント上回っている。
- ・プレハブ:道内におけるプレハブのシェアは、7.1%(対前年度0.4ポイント増)で、全国平均28.6%(対前年度0.1ポイント増)を21.5ポイント下回っている(シェアは全国最低(46位)。45位の宮崎県(9.2%)と2.1ポイントの差)。全国的には関西地方を中心とし、三大圏におけるシェアが高い。
- ・2×4:道内における2×4のシェアは、30.3%(対前年度2.9ポイント増)で、全国平均12.3%(対前年度0.6ポイント減)を18.0ポイント上回っている(シェアは全国最高(1位)。2位の岩手県(21.9%)と8.4ポイントの差)。全国的には2×4は、特に東日本、北日本におけるシェアが高い。
- ・道内における工法別シェアの長期的推移を見ると、在来木造のシェアは減少傾向にあり、2×4のシェアが拡大傾向にある。

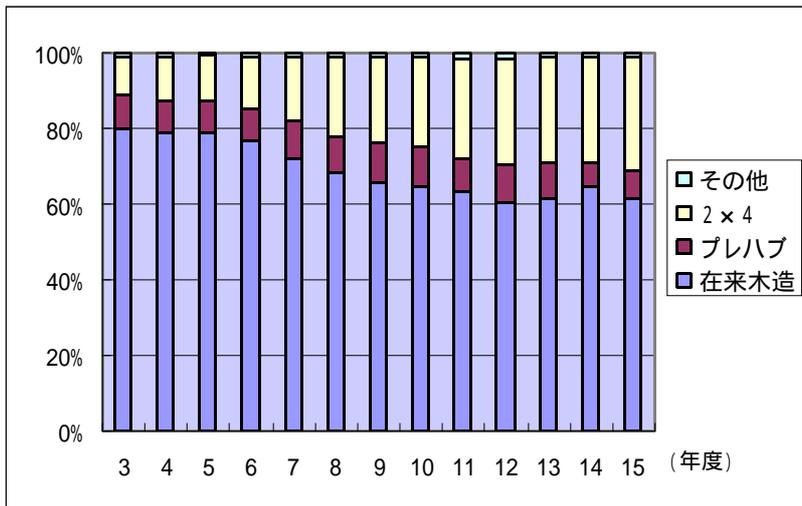


表15 工法別シェア推移(全道) (%)

年度	在来木造	プレハブ	2×4	その他
3	80.0	8.8	10.4	0.8
4	78.7	8.7	11.7	0.9
5	78.8	8.6	11.9	0.7
6	77.0	8.5	13.7	0.8
7	71.9	10.4	16.8	0.9
8	68.2	9.9	20.8	1.1
9	65.8	10.7	22.3	1.2
10	64.8	10.6	23.5	1.1
11	63.0	9.3	26.3	1.4
12	60.5	10.1	27.9	1.5
13	61.7	9.5	27.6	1.2
14	64.6	6.7	27.4	1.3
15	61.6	7.1	30.3	1.0

図16 工法別シェアの推移(全道)

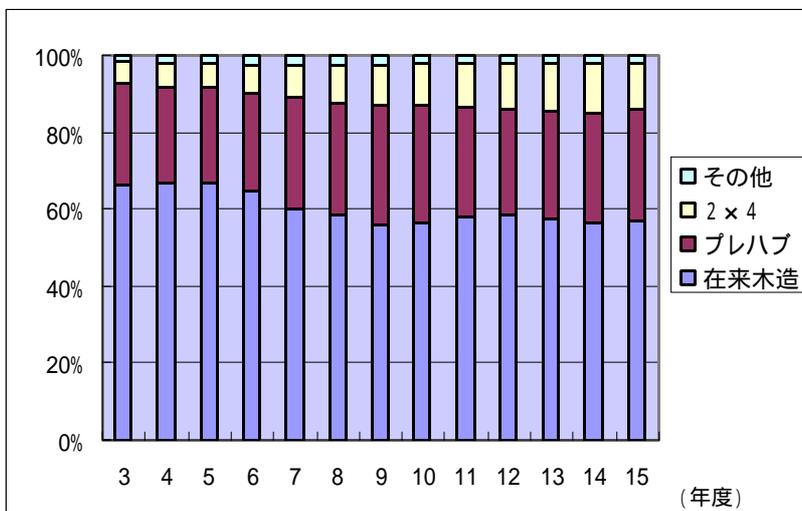


表16 工法別シェア推移(全国) (%)

年度	在来木造	プレハブ	2×4	その他
3	66.5	26.2	6.0	1.3
4	66.9	24.8	6.1	2.2
5	66.6	24.9	6.3	2.2
6	64.6	25.6	7.1	2.7
7	60.3	28.9	8.4	2.4
8	58.6	28.8	9.9	2.7
9	55.8	31.1	10.7	2.4
10	56.6	30.5	10.9	2.0
11	58.1	28.2	11.5	2.2
12	58.3	27.7	11.7	2.3
13	57.4	28.3	12.1	2.2
14	56.7	28.5	12.9	1.9
15	57.2	28.6	12.3	1.9

図17 工法別シェアの推移(全国)

[地域別]

- ・ 在来木造：宗谷地方が 92.6 % と最も高く、留萌地方が 88.2 % と続いている。
- ・ プレハブ：石狩地方が 10.9 % と最も高く、以下、後志地方(10.0 %)、空知地方(9.8 %)となっている。
- ・ 2 × 4：十勝地方が 46.2 % と最も高く、網走地方(41.4 %)、釧路地方(38.9 %)、胆振地方(36.0 %)、石狩地方(35.3 %)は 30 % を超えている。
- ・ 道内のシェアの傾向としては、プレハブは都心部を中心に、2 × 4 は道東方面を中心にシェアが高い傾向が見られる。

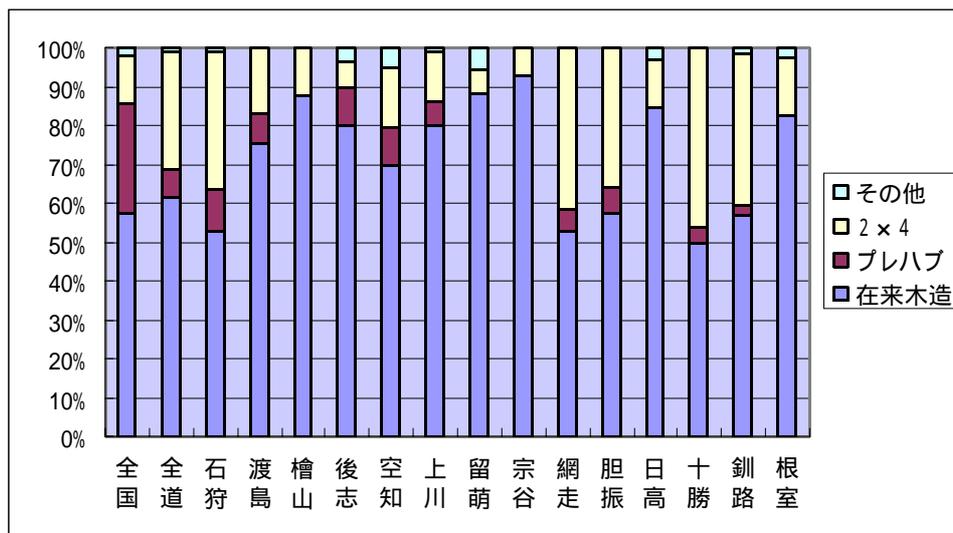


図18 支庁別工法別シェア

表17 支庁別の工法別シェア

支庁名	在来木造		プレハブ		2 × 4		その他	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	57.2	(56.7)	28.6	(28.5)	12.3	(12.9)	1.9	(1.9)
全道	61.6	(64.6)	7.1	(6.7)	30.3	(27.4)	1.1	(1.3)
石狩	52.9	(58.1)	10.9	(9.3)	35.3	(30.1)	1.0	(2.5)
渡島	75.3	(78.5)	7.9	(5.5)	16.9	(15.3)	0.0	(0.6)
檜山	87.5	(100.0)	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
後志	80.0	(79.0)	10.0	(6.0)	6.7	(14.0)	3.3	(1.0)
空知	69.5	(69.7)	9.8	(12.3)	15.9	(18.1)	4.9	0.0
上川	80.0	(71.8)	6.3	(9.2)	12.6	(17.2)	1.1	(1.7)
留萌	88.2	(75.0)	0.0	(6.3)	5.9	(18.8)	5.9	0.0
宗谷	92.6	(92.0)	0.0	(1.3)	7.4	(5.3)	0.0	(1.3)
網走	52.7	(55.9)	5.9	(6.1)	41.4	(37.3)	0.0	(0.8)
胆振	57.3	(56.9)	6.7	(2.4)	36.0	(40.1)	0.0	(0.6)
日高	84.8	(86.4)	0.0	0.0	12.1	(12.1)	3.0	(1.5)
十勝	49.7	(53.1)	4.2	(5.0)	46.2	(40.9)	0.0	(0.9)
釧路	56.9	(62.0)	2.8	(6.6)	38.9	(30.6)	1.4	(0.8)
根室	82.5	(78.9)	0.0	(1.3)	15.0	(19.7)	2.5	0.0

( ) は平成14年度調査結果

## 5 基準金利適用住宅

基準金利住宅の割合は全国平均（90.9%）、全道平均（85.8%）共に前年度より微増。道内における基準金利住宅適合率は地域格差あり。最高は上川地方（95.8%）、最低は留萌地方（52.9%）。都市部を抱える地方での適合率が高い傾向あり。

### [全国との比較]

- ・基準金利の適合率は、道内平均 85.8%（うち、バリアフリータイプ 62.1%、省エネルギータイプ 37.9%）となっており、全国平均 90.9%（うち、バリアフリータイプ 55.7%、省エネルギータイプ 44.3%）を、5.1 ポイント下回っている。
- ・全国平均（90.9%）は前年度より 2.1 ポイント増（前年度の全国平均 88.8%）、全道平均（85.8%）は前年度より 1.8 ポイント増（前年度の全道平均 84.0%）と、若干前年度より増加した。

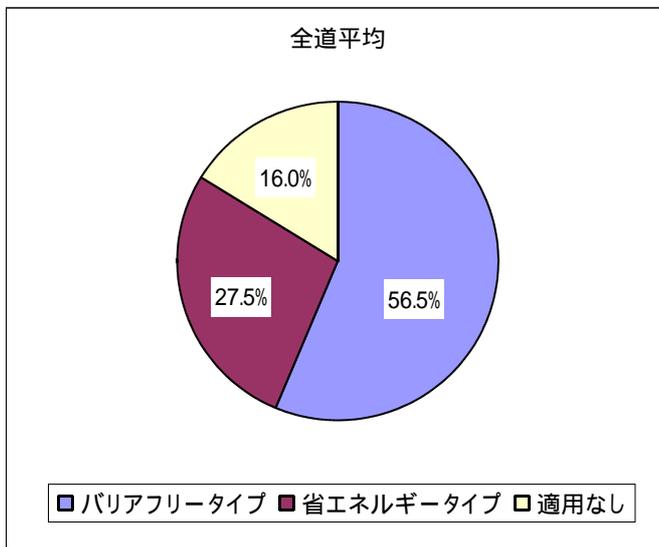


図19 基準金利住宅適合率（全道平均）

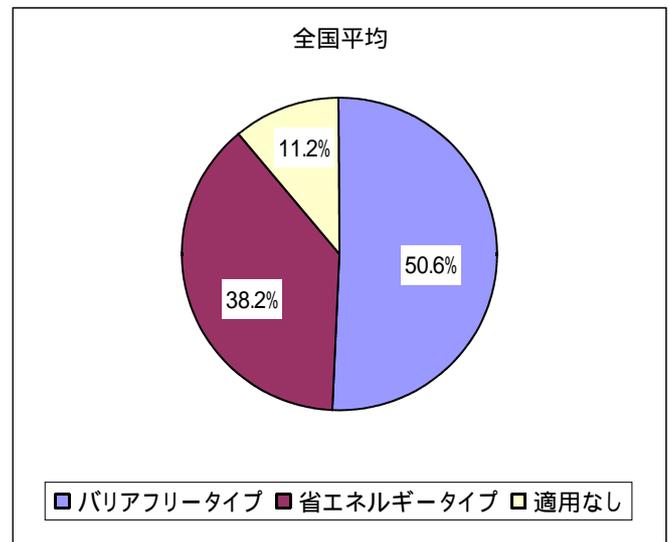


図20 基準金利住宅適合率（全国平均）

[ 支庁別 ]

・道内の基準金利適合率を支庁別にみると、地域によって格差がみられるものの、最大の上川地方（95.8%）と最低の留萌地方（52.9%）は、42.9ポイント差となっており、前年度（上川地方と留萌地方の34.5ポイント差）に比べ、拡大した。

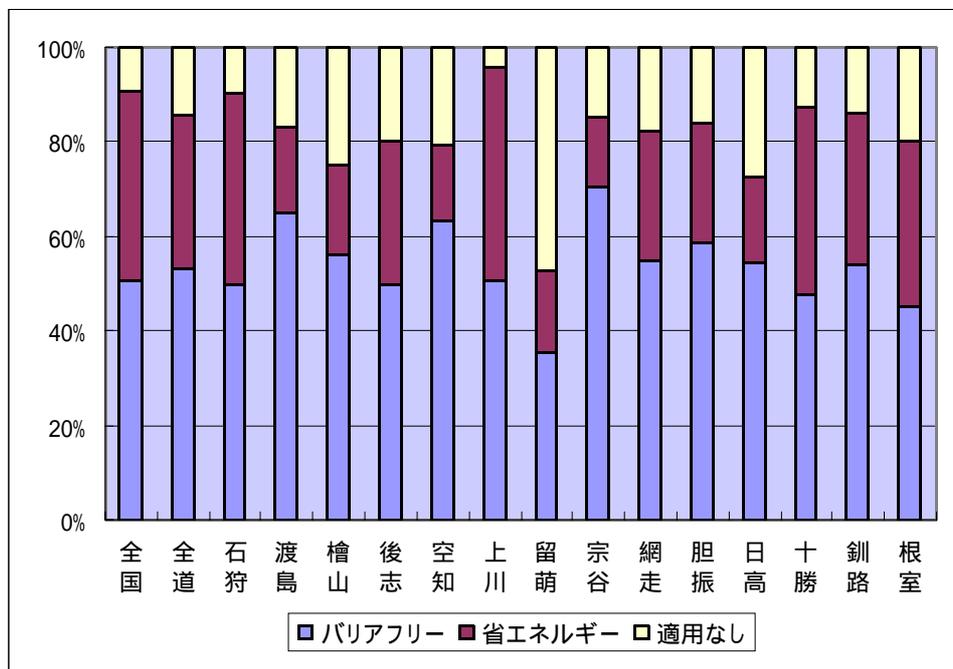


図20 支庁別基準金利適用住宅利用戸数

表18 基準金利適用住宅利用戸数(全道)(戸)

	全戸数	基準金利住宅	基準金利適合率(%)	バリアフリータイプ	適合率(%)	省エネルギータイプ	適合率(%)	適用なし	適合率(%)
全国	27,836	25,295	90.9	14,094	50.6	11,201	40.2	2,541	9.1
全道	1,302	1,117	85.8	694	53.3	423	32.5	185	14.2
石狩	414	374	90.3	207	50.0	167	40.3	40	9.7
渡島	89	74	83.1	58	65.2	16	18.0	15	16.9
檜山	16	12	75.0	9	56.3	3	18.8	4	25.0
後志	30	24	80.0	15	50.0	9	30.0	6	20.0
空知	82	65	79.3	52	63.4	13	15.9	17	20.7
上川	95	91	95.8	48	50.5	43	45.3	4	4.2
留萌	17	9	52.9	6	35.3	3	17.6	8	47.1
宗谷	27	23	85.2	19	70.4	4	14.8	4	14.8
網走	169	139	82.2	93	55.0	46	27.2	30	17.8
胆振	75	63	84.0	44	58.7	19	25.3	12	16.0
日高	33	24	72.7	18	54.5	6	18.2	9	27.3
十勝	143	125	87.4	68	47.6	57	39.9	18	12.6
釧路	72	62	86.1	39	54.2	23	31.9	10	13.9
根室	40	32	80.0	18	45.0	14	35.0	8	20.0

## 6 省エネ断熱工事適合率（次世代型含む）

**全国平均（68.6%）、全道平均（65.4%）ともにほぼ横ばい。  
都市部を抱える地方や道東方面で高い適合率。**

[全国との比較]

- ・ 省エネ断熱基準適合率の全道平均は 65.4%と前年度（63.6%）に比べ 1.8 ポイント減少している。
- ・ 地域<sup>(1)</sup>の省エネ断熱割増適合率は 65.2%（対前年度 0.9 ポイント増）で、全国平均 68.6%（対前年度 0.5 ポイント減）を 3.4 ポイント下回っている。

(1) 地域...断熱工事の地域区分。気候特性より市町村界で全国を 5 区分している。北海道は主に 地域。

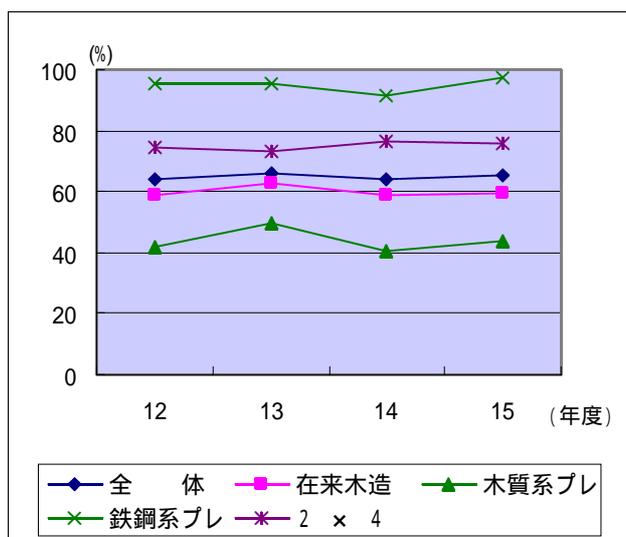


図22 省エネルギー住宅基準適合率（地域）（%）

表19 省エネルギー住宅基準適合率（地域）（%）

工法	12年度	13年度	14年度	15年度
全 体	63.8	66.0	64.3	65.2
在来木造	59.1	62.7	58.9	59.7
木質系プレ	42.0	49.6	40.5	43.8
鉄鋼系プレ	95.7	95.6	91.3	97.6
2 x 4	74.4	73.3	76.6	75.9

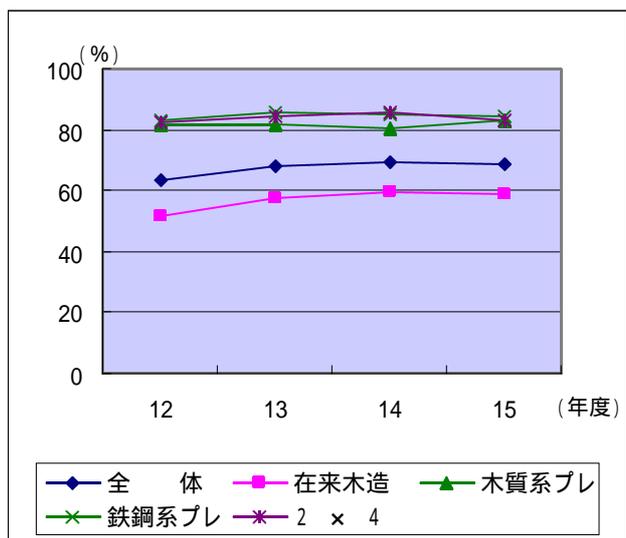


図23 省エネルギー住宅基準適合率（全国）（%）

表20 省エネルギー住宅基準適合率（全国）（%）

工法	12年度	13年度	14年度	15年度
全 体	63.3	68.1	69.1	68.6
在来木造	51.5	57.8	59.2	58.8
木質系プレ	82.0	81.7	80.7	83.2
鉄鋼系プレ	83.0	85.6	84.9	84.5
2 x 4	82.2	84.5	85.4	83.2

[支庁別]

- ・日高地方、檜山地方、渡島地方など、道南方面では適合率が低めである。
- ・留萌地方は基準金利住宅の適合率も低く、省エネ断熱割増の適合率も低い。

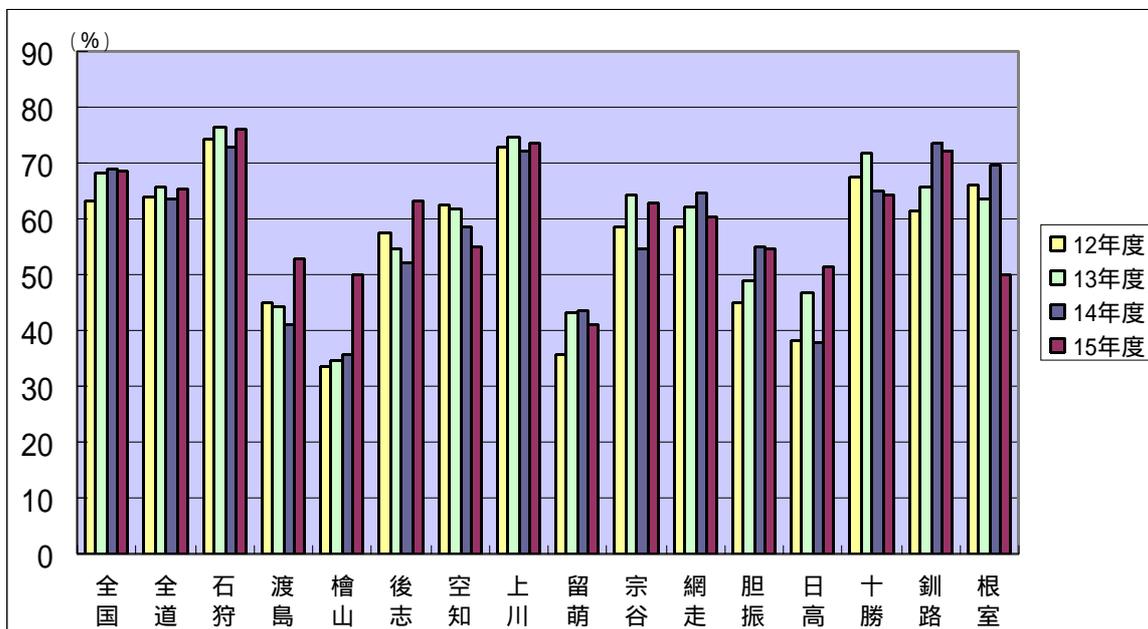


図24 支庁別省エネ断熱適合率

表21 支庁別省エネ断熱適合率 (%)

	12年度	13年度	14年度	15年度
全国	63.3	68.1	69.1	68.6
全道	63.8	65.6	63.6	65.4
石狩	74.1	76.6	72.7	76.1
渡島	45.2	44.4	41.1	52.8
檜山	33.7	34.5	35.7	50.0
後志	57.6	54.8	52.0	63.3
空知	62.4	61.7	58.7	54.9
上川	72.8	74.8	72.3	73.7
留萌	35.8	43.1	43.8	41.2
宗谷	58.5	64.2	54.7	63.0
網走	58.6	62.1	64.6	60.4
胆振	45.0	48.8	55.1	54.7
日高	38.4	46.7	37.9	51.5
十勝	67.4	71.7	65.0	64.3
釧路	61.6	65.8	73.6	72.2
根室	66.2	63.7	69.7	50.0

注 表21 支庁別省エネ断熱適合率

省エネルギー住宅基準適合率（「基準金利 省エネルギータイプ」＋「割増融資 省エネ（一般）＋（次世代）」  
 －「基準金利 省エネルギータイプと割増融資 省エネ（一般又は次世代）の併用」）

## 7 省エネルギー住宅工事(次世代型)利用率

**全道の省エネルギー住宅工事(次世代型)の利用率(24.3%)は全国10位、全国平均(18.1%)と比べ、6.2ポイント高い利用率。**

省エネルギー住宅工事(次世代型)とは・・・屋根または天井、壁、床に断熱材を入れ、開口部に二重サッシを施工するとともに、気密性を確保することなどにより、省エネルギー住宅工事(一般型)と比較して、より高い省エネルギー性能のある住宅とする工事のこと。

### [全国との比較]

- ・全国では省エネルギー住宅工事(次世代型)の利用率が18.1%に対して、全道の利用率は24.3%(断熱区分の地域の利用率は24.2%)と全国平均より6.2ポイント上回り、前年度(5.5ポイント差)より格差は拡大した。
- ・全国においては、前年度(14.8%)より3.3ポイント増加、全道においては、前年度(20.3%)に比べ4.0ポイント増加している。
- ・工法別の次世代割増の利用率は、全国、地域共に鉄鋼系プレハブがいちばん高い。
- ・都道府県別の次世代型割増の利用率の上位は、和歌山県(40.8%)、滋賀県(32.7%)、宮城県(29.0%)と、関西地方における利用率が大きく伸びている。

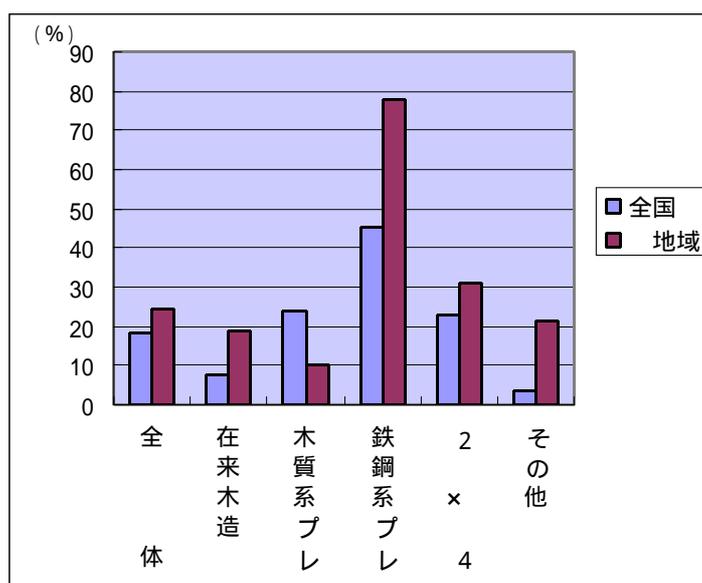


図25 工法別次世代割増融資利用率

表22 省エネ次世代割増融資利用率(地域)

工法	全戸数	利用戸数	利用率(%)
全体	1,277	309	24.2
在来木造	784	149	19.0
木質系プレ	48	5	10.4
鉄鋼系プレ	41	32	78.0
2x4	390	120	30.8
その他	14	3	21.4

表23 省エネ次世代割増融資利用率(全国)

工法	全戸数	利用戸数	利用率(%)
全体	27,836	5,026	18.1
在来木造	15,915	1,192	7.5
木質系プレ	2,476	596	24.1
鉄鋼系プレ	5,402	2,433	45.0
2x4	3,421	784	22.9
その他	622	21	3.4

- ・「その他」にはコンクリート系プレハブ、在来鉄骨等、在来耐火、ログハウスを含む。
- ・省エネ次世代割増利用率は、省エネルギー住宅工事(次世代型)パッシブソーラーシステム併用の利用を含む。

[支庁別]

・十勝地方（32.9%）、石狩地方（32.1%）は利用率が30%を超えている。

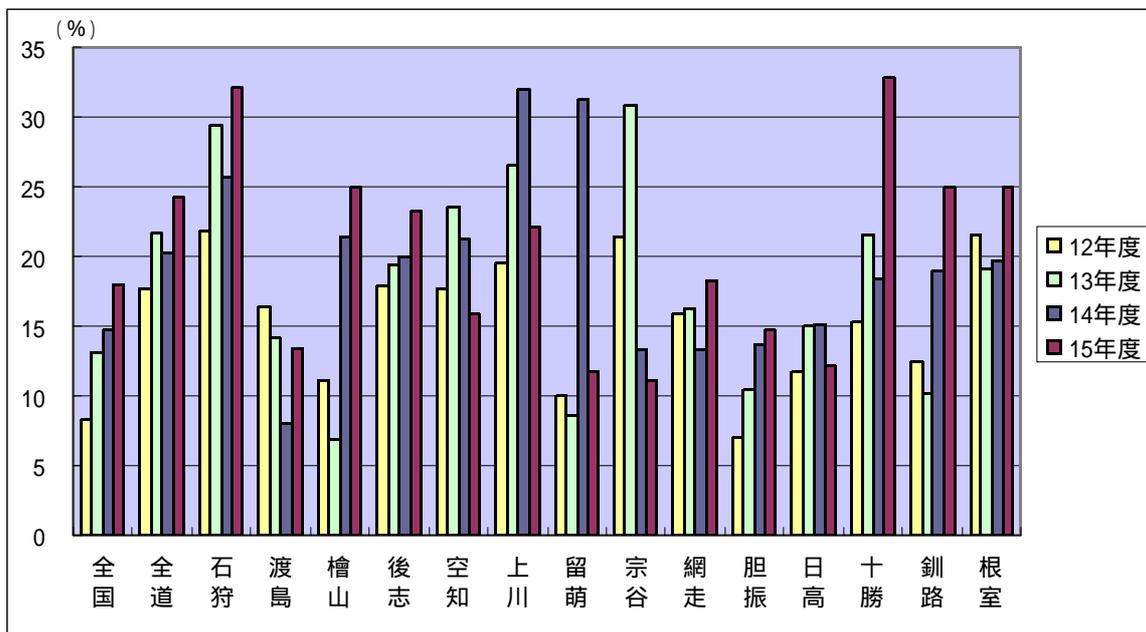


図26 地域別省工ネ次世代割増融資利用率

表24 省工ネ次世代割増融資利用率 (%)

	12年度	13年度	14年度	15年度
全国	8.3	13.1	14.8	18.1
全道	17.7	21.8	20.3	24.3
石狩	21.8	29.5	25.7	32.1
渡島	16.5	14.2	8.0	13.5
檜山	11.2	6.9	21.4	25.0
後志	17.9	19.4	20.0	23.3
空知	17.7	23.6	21.3	15.9
上川	19.6	26.6	31.9	22.1
留萌	10.0	8.6	31.3	11.8
宗谷	21.4	30.9	13.3	11.1
網走	15.9	16.3	13.3	18.3
胆振	7.0	10.5	13.8	14.7
日高	11.7	15.0	15.2	12.1
十勝	15.3	21.6	18.4	32.9
釧路	12.5	10.2	19.0	25.0
根室	21.6	19.1	19.7	25.0